



2018年7月28日 「奥浅草だより」第8号
昔ながらのパン屋と豆屋と本屋の繁昌

パンのペリカン 浅草で75年続いているパン屋。創業以来、食パンとロールパンしか作っていない。その上、毎日行列ができてすぐ売り切れるのもいま、拍車がかかっています。それは30歳の4代目が、『パンのペリカンのはなし』（二見書房 2017年10月）という本を書いたからです。しかしいくら早く売り切れても、増産はいたしません。近隣のカフェなどへは卸しています。昔ながらの白いパンですが、なぜか超人気です。

（台東区寿4-7-4、[TEL:03-3841-4686](tel:03-3841-4686) 8:00-17:00 日祭休）

ほていや中塚商店 浅草田原町にある煎り豆屋。浅草神社の節分の大豆は全部、ここで炒るばかりか、落花生など豆という豆を炒って卸すのが3代にわたる仕事です。そのために毎朝、店の奥で豆を炒りますが、夏の暑い日は朝でもきつい。おかきや塩せんべいもガラスのケースに入れて量り売り。このケースは、壊れたら直せる人がいないそうです。近ごろは外国人観光客に人気ですが、彼らは豆の歴史などを訊くので、おかみさんはスマホで外国語の対応をするのに忙しいそうです。商品は全部、昔ながらのもので新製品はありません。

（台東区寿4-14-7、[TEL:03-3841-0245](tel:03-3841-0245) 8:00-18:00 年中無休）

河合書店 浅草寺の西参道商店街にある本屋。店主は金融機関を退職した2代目で、先代が1964年にギャンブル書を中心に開店。それは近隣に場外馬券売り場（現在の「ウィングズ浅草」）があったからで、競馬の本を集めたのです。ほかのギャンブル書もそろっていますが、パチンコはありません。競馬は奥が深いですが、パチンコ人は本を読まないそうです。ほかに、いろいろな壁掛けカレンダーを1年中置いて客を集めています。刺青カレンダーなどが人気。

（台東区浅草2-7-13、[TEL:03-3841-5500](tel:03-3841-5500) 9:00-18:00 不定休）

この「奥浅草だより」は、『奥浅草 地図から消えた吉原と山谷』の発行後、話題を拾って不定期に発行しております。

サノックスのホームページからもご覧になれます。<http://www.sanox.co.jp/>

佐野陽子・江原晴郎・森下恒子